

# 「株式会社 姫路シティ FM21」

## 第 60 回 放送番組審議機関 審議会議事録

1. 開催日時 平成27年7月18日(土曜日) 午後1時30分～午後3時

2. 開催場所 イーグレひめじ地下2階 ミーティングルーム

### 3. 出席状況

1) 委員総数 7名

2) 出席委員数 6名

3) 出席委員の氏名(敬称略、順不同)

大谷 昭仁 岩田 稔恵 大野 幸一 大井 義雄  
岸田 直美 衣笠 愛之

4) 欠席委員の氏名(敬称略、順不同)

宮本 節子

5) 会社側出席者氏名

寺尾 雅晴 (専務取締役 放送局長)

石本 康二 (常務取締役 営業部長)

小幡 博 (営業企画課 課長)

### 4. 議題

1) 事務局より挨拶

- ・ 専務取締役放送局長よりあいさつ

2) 試聴

- ① 平成27年6月18日(木) 夕方交差点GENKIもって来い!ゲストコーナー  
夢街道づくり実行委員会さんご出演
- ② 平成27年7月14日(火) NAMAMARINA内いちばん星

3) 資料説明

- ① 平成27年6月～平成27年7月の取り組みについて
- ② 平成27年7月以降の取り組みについて

#### 4) 意見交換

##### 【試聴した番組についての意見】

##### ①夕方交差点GENKIもって来い!ゲストコーナーについて

A 委員 ラジオ新聞について。今回広告協賛をさせていただいたのだが、全体的な出稿状況はどうなのか？

小幡課長 今回は全枠出稿いただいた。

B 委員 商工会議所などとタイアップして、ベンチャー企業などと協業するというということも必要ではないか？

A 委員 スポンサーがふえるとページ数は増えるのか？

小幡課長 その可能性はあるが、印刷経費との兼ね合いとなる。配布に関しては、連合自治会に協力して頂いている。

寺尾局長 仮に増やすとすれば、仕様上4ページ毎に増やさないといけない。

A 委員 構成はだれがしているのか？

寺尾局長 担当者が行っている。

小幡課長 景気が良ければ写真もプロカメラマンに委託できるが、カット写真についてはスタッフが撮影している。

A 委員 パーソナリティやスタッフ紹介が充実するとよい。現場の面白さや大変さが伝わるような記事が欲しい。

##### ②NAMAMRINA いちばん星について

B 委員 生徒のインタビューが流れていたが、保護者や教師も流すべき。

小幡課長 今回は小学生だったので、質問に対して一言ずつしか返ってこないことも多い。

B 委員 全員の親でなくても、ピックアップしてインタビューをするべき。

C 委員 筋書きはだれが考えているのか？

小幡委員 当日の収録前に打合せを行い、決定している。いきなり本番というわけにはいかないなので、雑談を交えて行っている。

##### 【その他意見】

A 委員 先日の台風時も徹夜で放送するスタッフの様子などがfacebookにアップされていたが、そのようなものがあるとリスナーや市民の理解も深まるのではないかと。長期間だったのでスタッフは大変だったと思う。災害時は、市民からの情報収集などを行うことができれば、よりリスナーに状況を伝えることができるのではないかと。

小幡課長 情報収集については、今回の台風でもスタッフやボランティアグループであるGENKIラジオクラブの会員にメールをだして募集した。

A 委員 消防団さんや自治会からの情報があれば流してもらえばよい。

B 委員 自治会から情報収集する仕組みを考えてはどうか？

寺尾局長 現状は姫路市災害対策本部からの情報をもとに放送している。本部でも

市民から連絡が集中すれば回線がパンクする。そのため、自治会長等に取りまとめをお願いしている状況である。

本部も危機管理の専門職員だけで対応しているわけではなく、応援の職員もいる。

B 委員 緊急時は市役所もどうにもならない時がある。危機管理担当の部署とも連携した情報収集も必要。

A 委員 情報発信・収集については、facebookは大変有効だと実感した。連合自治会長も活用できると、より状況を伝えやすいのではないかと。

B 委員 IT技術は活用すべきと考えるが、自治会長は高齢者も多く、すぐには適応できないと思う。

寺尾局長 危機管理室とはしっかり連携している。

D 委員 市川の水位などが放送で流れてくるが、それだけでは何をすればよいのかわからない。NHKを見ていると分からない。

B 委員 NHKは放送範囲が広いので、難しい。

C 委員 きめ細やかな放送をお願いしたいが、そのためには様々な負担も大きくなるだろう。

A 委員 姫路ケーブルテレビは災害時はどうしているのか？

寺尾局長 少なくとも行政から出る情報は同じレベルで入っていると思う。ケーブルテレビは画面があるので、通常番組を流しながらテロップ等の対応ができる。

A 委員 FMゲンキで動画配信が利用できないのか？リアルタイムの情報を言葉だけでなく、見せるものがあればさらに良い。

寺尾局長 余裕がないと難しい。音の処理だけで精一杯のスタッフ人数。

B 委員 FMゲンキは地域に特化しているのが特徴。

小幡課長 FMゲンキでは災害時に必要な情報やリンクなどを設定している。災害時はアクセス数が大幅に増加する。

A 委員 体調不良などがあつたらどうするのか？

小幡課長 短期間は問題ない。長期間は難しくなる可能性がある。

寺尾局長 ここ数年は長期化した場合の体制も検討している。社員パーソナリティのほかに、防災パーソナリティ等の制度をつくっている。

A 委員 費用負担はどうなっているのか。

寺尾局長 短期間であれば自己資金で対応できるが、長期間24時間体制になった場合は、フル動員の必要があるだろう。そうなれば、姫路市とも相談し、応分の負担をお願いすることになるだろう。

C 委員 FMゲンキの発足時の目的の一つに防災がある。大災害時は姫路市からの支援が必要だ。

寺尾局長 大災害時は臨時災害放送局の制度がある。免許人は市町村長だが、既存のコミュニティ放送局からの転換もある。姫路市の場合もそのような可能性がある。スポンサーを元に戻せなくなるため、緊急時に限られるのではないかと。

A 委員 情報発信について、国民保護情報の放送ということを初めて聞いた。  
小幡課長 Jアラートからの緊急放送に対応したため、自動放送される。  
A 委員 前回試聴した動物の番組が大変良かった。ぜひ授業などでも活用できる  
よう教育委員会等にも提案してほしい。  
寺尾局長 先ほどの交通情報の話だが、日本道路交通情報センターと連携した情報  
を放送している。その中でFMゲンキの基準を超えた場合に渋滞とみな  
して放送をしている。

**【事業報告等に関する意見】**

午後3時、以上の報告・討議・検討を終了し、閉会した。

公表年月日 平成27年7月26日

公表内容 審議の概要

公表方法 事務所据え置き、ホームページ (<http://fmgenki.jp>)

自社放送内「FMゲンキからのお知らせ（平成27年7月26日午後3時45分）」

以上